

コレクション展 2013-1 レイヤー 層が生み出す表現

2013年3月16日(土)～6月23日(日)

現在から未来…常に進み続ける「時」

本コレクション展では、レイヤー（層）をキーワードに、作品を形成する思想やメディア、技法が階層化した表現を紹介し、作品の構成要素として幾層にも折り重なるレイヤーに目を凝らし、それらがもつ意味や役割を個別のレイヤーとして分解・抽出し、効果を意識することを通して、多様な現代表現について考察します。

ある構造において、それが階層状態になっているとき、それらを構成する一つ一つの層や、その階層的なさまをレイヤーといいます。美術表現においては、イメージやオブジェといった物理的な素材の重なりや、歴史や文化に依るコンテクストといった、さまざまな要素が複数積層することで作品は形成されます。たとえば、さまざまな素材に意味や役割を付与し、重ね合わせることでイメージや構造を形成する作品もあれば、作品にまとめたひとつのレイヤーが、より深遠なコンセプトとして現れる作品もあります。本展では6つのテーマを設定し、レイヤー表現がもたらす効果が、どのように創造行為へと結びついているかを提示します。

テーマ1 / 版の重なり

版画作品がもつ特性は、その技法や工程自体が階層性を有している。アートを大衆・日常と結びつけたポップ・アートは、マス・プロダクトとして版画を用い、刷り重ねやずらしでレイヤー構造を露わにする。版の重なりを意識させるとともに、その行為自体を可視化した作品を展示する。

テーマ2 / 多層構造が生み出す空間

作品を構成するオブジェやモチーフの多層構造がもたらす効果は、立体作品や平面作品のもつ表現の特性や制約を超え、空間性をより豊かに形象化し我々に提示する。塊それ自体や、描かれた情景のみに留まらず、作品と鑑賞者を取り囲む空間性を創出した作品を展示する。

テーマ3 / レイヤーがもたらす絵画表現

美術史は、絵画における二次元性の克服の歴史でもある。20世紀以降、前衛アーティストが採り入れた、素材を貼り重ねるコラージュは、平面表現と立体表現の垣根を取り払う試みでもあった。本章では、物理的な素材の積層に限らず、描写技法により奥行きや厚みを表現した作品を展示する。

テーマ4 / 身体にまとうレイヤー

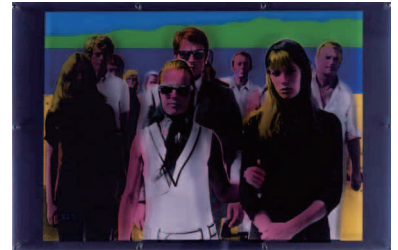
人間は身体をさまざまな要素で覆い日常を営む。現代表現においても、覆う・まとうという概念が重要な意味や効果として現れる。人種やジェンダーというレイヤーをまとわせる作品、平面である布と立体である身体の関係を問う作品。覆うことが視覚の常識を根底からくつがえす作品を展示する。

テーマ5 / 時と距離を重ねて

衛星中継という技術を用い、時間や場所という物理的な隔たりをひとつの映像上に重ね合わせたナム・ジュン・パイクのサテライト・アート三部作を上映する。

テーマ6 / 記憶とイメージの重層

作品は制作者の思想や意図のみならず、鑑賞者の記憶や感情、知識といったさまざまな要素が重なり合って成立する。「ヒロシマ」というこの都市が持つ記憶やイメージをアーティストがそれぞれの技法に託して表現した作品を展示する。



横尾忠則  
《葬列I》1969-85



戸谷茂雄  
《けもの道I》1989



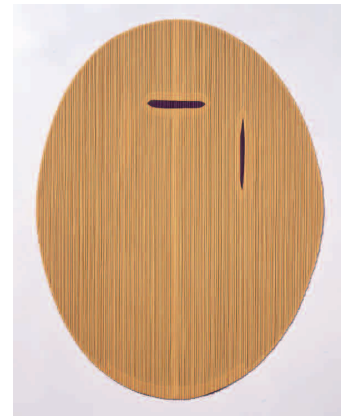
クルト・シュヴィッタース  
《ノルウェーの旗》1947



高松次郎  
《影の母子像》1987-88

## 開催概要

- 【会期】 2013年3月16日(土)～6月23日(日)
- 【開館時間】 午前10時-午後5時  
 ※3月26～31日、4月2～5日、5月3日は午後7時まで開館  
 ※入場は閉館30分前まで
- 【休館日】 月曜日(ただし祝休日にあたる場合開館し、翌平日休館)
- 【観覧料】 一般 360(280)円、大学生 270(210)円、高校生 170(130)円  
 ※( )内は30人以上の団体料金  
 ※中学生以下と65歳以上は無料



三宅一生  
 《リズムフルーツ》1989/94(再制作)

## 出品作家(予定)

### 1. 版の重なり

横尾忠則、アンディ・ウォーホル、ジェームズ・ローゼンクイスト、ジャスパー・ジョーンズ、クレス・オルデンバーグ、リチャード・ハミルトン

### 2. 重層構造が生み出す空間

饒嘔、ホルスト・アンテス、戸谷茂雄、佐古昭典、菅木志雄

### 3. レイヤーがもたらす絵画の空間表現

クルト・シュヴィッターズ、ロバート・ラウシェンバーグ、ナンシー・スペロ、フランク・ステラ、草間彌生、金昌烈、ジュリアン・シュナーベル、横尾忠則、高松次郎、村上隆

### 4. 身体にまとうレイヤー

森村泰昌、郭徳俊、福田繁雄、三宅一生、ヤノベ・ケンジ、シンディ・シャーマン

### 5. サテライト・アート/時と距離を重ねて

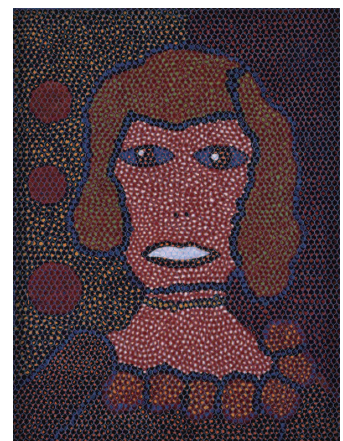
ナム・ジュン・パイク

### 6. 記憶とイメージの重層/ヒロシマの表層

浜田知明、荒木高子、島州一、ボイルファミリー、村上善男、新藤健吉、デイヴィッド・リヴァレット、アンジュ・レッチア



フランク・ステラ  
 《妖しき汐煙》1987



草間彌生  
 《DANNY LA RUE (Caged)》1970

#### 【同時開催】

#### ●特別展 路上と観察をめぐる表現史—考現学以後

2013年1月26日(土)～4月7日(日)

#### ●特別展 日本の70年代

2013年4月20日(土)～7月7日(日)

広島市現代美術館(学芸担当:齋藤 広報担当:後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1

TEL/ 082-264-1121(代表)・082-264-1146(学芸直通)

FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp

WEB/ <http://www.hiroshima-moca.jp/>